5月15日 日曜日 14日発行
昭和30年西暦1955年
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話（代表）京橋（56）8646
（直通）販売（〃）0437 広告（〃）3995
編集 港区芝田村町5の6
電話代表芝（43）1163番
東京 振替貯金口座 170071番

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

第3096號（昭和24年6月27日第三種郵便物認可 昭和24年5月27日國鉄特別扱承認新聞第232號）
（中華郵政台字第63?號執照登記為第2類新聞紙類・内政内警証報僑内台誌字第0136號）

あすの暦 5月15日・日
旧暦3月24日
月齢 22.6
日出 4.37
日入 6.38
月出 前 0.07
月入 前 11.22
満潮 前 10.30 後 —
干潮 前 4.35 後 4.55
（小潮）

天気予報
今晩 北の風曇時々晴
明日 北のち東寄りの風曇一時晴、晩一時雨

国鉄一家にメス

船舶部門の機構改革へ

紫雲丸事件の責任を国会から追及された政府は、国鉄人事の刷新をはかり、あわせて船舶部門を中心とした国鉄の機構改革を図ろうとしている。洞爺丸につづく今回の紫雲丸事件は国鉄機構上の欠陥が生んだものであるとさえいわれているが、果して機構上に欠陥があったのか、その機構を解剖してみよう（猿）

国鉄の船舶部門は北海道、四国、九州と本州を結ぶ海上輸送部門で陸上幹線に勝るとも劣らぬ重要部門である、ところがこれを組織上からみると別表のようで、ガッチリ組んだ"国鉄一家"の機構からみると手薄かつ冷遇されている"陽の当らぬ場所"といった感じである

国鉄はその保有船舶トン数（約七万五千トン）および保有船員数（約五千名）からみればわが国一流の船主に匹敵する有力船主である、それにもかかわらず機構上からみれば陸上輸送優先で鉄道管理局の一つの部、あるいは課がこれに当っているにすぎない

国鉄船舶関係組織表
経営委員会
総裁—副総裁
営業局
船舶課
鉄道管理局
営業部
船舶部
船舶課 海務課 船務課 さん橋 連絡船 船員区

極端な冷遇ぶり

陽の目みぬ技術専門家

青函連絡船は青函鉄道管理局の船舶部、宇高線は四国鉄道管理局営業部海務、船務両課の担当といった扱いである

そして現業部門として船員区（予備船員）連絡船、さん橋があり、これらの長は管理局長から直接指揮命令をうける仕組みになっている

北海道、四国、九州をつなぐ動脈輸送部門が機構上このように扱われていると同時にさらに注意しなければならないことはその部門の長たるものが海運事情に暗い法文系統の出身者によって占められ、専門家はせいぜい現場長にすぎないという人事運営面の事実である

本庁の営業局船舶課長は勿論、青函管理局船舶部長も海運には門外漢の法文系であり、僅かに青函局の海務課長とさん橋長が技術畑出身の専門家にすぎぬ、これでは全く事故が起きなければ不思議（海洋会談）である

国の内外をとわず海運業者が企業の絶対条件であり、社会的責務としている金科玉条は「専門家による運航管理の主体性確立」である

これは多年の経験から生み出されたもので海上航行の安全と船舶運航能率増進のため不可欠の条件としており、海運会社はエキスパートを海務担当重役にあて海務部門を整備しているが一流海運業者に匹敵する国鉄の現状はいままでのべたとおりである

洞爺丸事件以後、国鉄内部においても機構改革が日程にのぼり、本庁営業局船舶課で立案、主として青函局関係の改革に成案をえ、目下審理中の洞爺丸海難審判の終り次第実施する運びであったが三月下旬、海洋会と全国商船学校十一会で提出した機構改革に関する意見書および今回の紫雲丸事件発生により、さらに全面的な改革を断行する機運にあるようである、海洋会、十一会の提出した意見書はつぎのようであるが国鉄今回の「改革方針」は意見書の線に近いものとみられている

一、国鉄本庁における現在の船舶管理組織は、船舶の安全運航の確保を期し得られないと思料されるので船舶運航管理を掌る部門を局として独立せしめ、その最高首脳者に船舶運航の専門家をもってあてること

二、国鉄青函鉄道管理局から海上輸送に属する業務を処管する部門（局）を独立せしめ、局長をはじめその要処に船舶運航の専門家をもってあてること、なお同部門内に局長の技術諮問機関を別に新設し、船舶運航に関する技術上の研究指導体制を整備すること

三、青函鉄道管理局以外の連絡船処管の他局にあっても、右に準じて機構を刷新整備すること

"局"か"部"に昇格

三木運輸相談 改善委員会で検討

三木運輸相

【大阪発】三木運輸相は紫雲丸遭難者の弔慰と現地視察のため十四日朝三宮着急行"銀河"で西下、神戸港から第五管区本部の巡視艇で高松に向ったが、車中当面の諸問題について次のように語った

一、後任国鉄総裁は部外から選ぶ方針で、来週中にきめたい、関西財界人を含めて経営力ある財界人を約十名候補にたてている

一、事故の責任については私自身も痛感している、責任者の処分は後任総裁の手でやってもらうことになるが、国鉄本庁と四鉄局の幹部にはこの際責任をとってもらうよう要望する

一、機構改革のため人事の刷新をはかりたい、七万トンからの連絡船を持つ国鉄に船舶課だけでは機構が小さすぎるので、船舶局が船舶部というように昇格させて機構を充実さすべきだ、さらに根本的問題を解決するために大臣の諮問機関として「国鉄連絡船改善委員会」を設ける方針である

一、かねて要望のあった淡路島縦断鉄道調査費として今年度一千万円を出すが、青函トンネルにも五千万円の調査費を計上する

責任者の処分 早急実施要望

衆院運輸委視察団が要望

【宇野発】紫雲丸沈没事件を調査中の衆院運輸委員長加藤常太郎氏ら調査団一行四氏は十四日午前六時四十分高松桟橋発宇高連絡線紫田丸＝紫雲丸と同型同構造＝を詳細に視察、同八時宇野駅発列車で帰京したが、同駅で二日間にわたる調査の結論を次のとおり発表した

▽調査の結果事故の責任は国鉄にあることがはっきりした、責任者の処分は海難審判の結果を待たず早急に行うとともに悪評高い国鉄の人事の刷新を断行させ士気をひきしめる

▽サービス本位に流れすぎ人命尊重の面が軽視されているが、今後はサービス面を多少犠牲にしても安全第一主義をとり七月のダイヤ改正から実施させる

B地区除外で一致

北富士演習場問題 日米の話合つく

衆院内閣委員会は十四日午前十時廿分開会、福島調達庁長官は冒頭発言を求め北富士演習場問題について去る十二日行われた米極東軍司令部との協議内容を次のように発表した

一、米軍は一般的条件としてもっとも重要な「B地区を被弾地区としない、将来も予備演習場とする」ことにつき保証した、また米側は「B地区を被弾地区とする場合は日本側と協議しなければならないからこれは日本側の問題である」と述べたので私は「日本政府は将来もB地区は被弾地区としない」と申入れた

一、米軍はB地区の道路などへの地元民の立入自由を認める、演習場に使用する場所以外は自由であり、立入禁止の札も撤去する

一、B地区への観光客の立入りを認める

私としてはこれにより現行の使用条件の改善はできたと思ったので十三日夜天野山梨県知事に伝えほぼ了承を得た、知事も付随問題は現地で調整すると語っていたので近く米軍側に回答するつもりだ、北富士演習場問題はこれで一応解決したといえると思う

日ソ問題で応答

衆院外務委員会

衆院外務委員会は十四日午前十時十分開会、日中貿易協定および日ソ交渉、富士山麓の演習地問題について穂積七郎（左社）松本七郎（右社）北沢直吉（自由）古屋貞雄（左社）の各氏が首相、外相に質問した

穂積氏 鳩山首相は日中貿易協定に支持と協力を与えると言明しているが協定内容を承知の上でのことか

鳩山首相 協定の内容は説明を受けず知らなかった、従って中共の駐日代表に外交官の待遇を与えるように書いてあるのと支持を与えるのとはやや違う、この問題は承認問題ともからむので今は何ともいえないが日中貿易の促進に沿う点には協力しようといったまでだ

穂積氏 ロンドンを通さない直接決済の具体化に政府はどういう方針をとるか

首相 私はよく知らないが一万田蔵相はこれが可能になるよう努力するといっている

穂積氏 中共常駐代表には承認と関係なく外交官待遇が必要ではないか

重光外相 外交官待遇は与えるわけにはゆかぬ、旅行の無制限の自由は与えられない、通信も暗号電報などは認められぬ

松本氏 去る二月九日ソ連最高会議では各国の国会議員を交換することは有意義であるとの宣言、すでにインドとソ連の間では議員交換の話が行われているが日本もこの趣旨にそってソ連と議員交換を行うことを国会が決めたら政府は協力するか

首相 私は未だかつてそんなことを考えたことがない、初めて聞く話でどういう目的で交換するのか判らない

松本氏 日ソの友好関係樹立を目指すならこれは必要である

首相 具体的に問題がおきた時考えたい

松本氏 私の提案で各党の国会対策委員長会議で協議をするようなっているが、この問題について国会で決定して、ソ連から議員が来る場合政府は便宜を与えるか

首相 インド、ソ連両国間は正常の国交関係にあるが、日本とソ連は国交未回復だから正常化してから考えたい

ソ連・ユーゴ首脳会談

今月末に開催

（上）ブルガーニン首相 （中）チトー大統領 （下）フルシチョフ氏

【モスクワ十四日発AP＝共同】ソ連政府機関紙イズヴェスチアは十四日の紙面トップに大見出しで「ブルガーニン首相、フルシチョフ共産党第一書記はじめ党幹部が今月末チトー・ユーゴ大統領と会談するためユーゴを訪問する」との政府発表を載せた、この発表はソ連・ユーゴ首脳会談開催について次のように述べている「ソ連、ユーゴ両国政府は両国関係の改善と平和強化を図ろうとする双方の希望と目的の下に、最高水準の代表からなる会談を開くことに決定した」

自由党首脳会議

予算案の組替え問題を協議

自由党は十四日午前十時十分から東京渋谷の総裁邸で緒方総裁、石井幹事長、大野総務会長、水田政調会長、佐藤国会対策委員長、池田勇人、林譲治、松野鶴平氏らが集まり、首脳会議を開き卅年度本予算に対する自由党の組替案について協議した

自由党政調会はすでに十三日本予算案にたいし大幅な組替を要求することを決めており、水田政調会長は同日院内で開かれた国会対策政調会、予算委員の合同協議会に組替の大要を示し、これを中心に予算案の取扱いについて協議した自由党首脳も予算案にたいして組替を要求する意向にほぼ固まっているもようである

右から水田、池田、林、石井、緒方、松野、大野、佐藤、塚田の各氏（渋谷の総裁邸で）

テイラー大将

米陸軍参謀総長に就任

【ワシントン十三日発AP＝共同】アイゼンハワー米大統領は十三日、後任陸軍参謀総長に米極東軍兼国連軍司令官マックスウェル・テイラー大将を任命すると発表

芝居のラブシーン

今の芝居で、舞台へ枕画を持ち出したら、それこそ大騒動だろうが、昔はよく使った。といっても、うるさい人は江戸時代だっていたから、そう番組ごとには利用できない。二つだけ御紹介しよう。

一つは、並木五瓶が大阪で書いた時代物、「けいせい黄金鯱（コガネノシャチホコ）」という狂言で、名古屋城の金の鯱を盗んだ、柿の木金助を主人公とした芝居だが、二幕目の御殿は斎藤竜興の持ち場で、竜興は自分が実は家老山形道閑の入れ替え子で、計らずもその事実を知り、いい訳に切腹するのが眼目の筋だ。死ぬ前に、許嫁の久方姫が、腰元になって仕えている心を不便に思い、一度枕を交わすという場である。とにかくこの殿様は女を知らないという堅人だ。

舞台に床がとってあって、二人がその上へ上がる。

「申し殿様、どういたしたら、よろしうございましょうな」

「どうしたらよかろうやら、某も、母の胎内を出てしより、乳人の乳房をはなれて、女と添寝は、卅歳に至る今宵が初め。何をいうても不案内。そちも存ぜぬか」

「自らとても、廿の上は三つ越せど、殿御と枕かわしまするは」

と無性に畏えている。

「ハテ、何としような——オオ幸い」

床の間の鎧櫃の中から、枕画を出して持ってくる。昔の鎧櫃には、かならず入っていたものである。この巻物をくりひろげて、二人で見る。どんな演出、表情をしたろう——脚本には、「両人、心意気」とある。

「あらかた承知」

「殿様」

「衣を解け」

これで屏風を引きまわす——この「あらかた承知」のセリフが、当時の大阪の流行語になって、顔さえ見合すと誰れでも「あらかた承知」といったそうだ。なんでこんな狂言を書いたかといえば、竜興をやった尾上新七という役者が、体がゴツゴツしているくせに色気があった、その柄を見たからなので、即ち「五大力」の源五兵衛なども、この人に書きおろしたのである。

もう一つは江戸の瀬川如皐が書いた世話物「御摂曽我章」（カドレイシャ、ソガノトシダマ）という狂言の二番目。深川あみ打場の治兵衛という、きおいの内へ、芸者の小春がたずねてくるが、治兵衛は生れつき女ぎらい、小春は男知らずという変った同士。小春の所へ借金とりが来たが金がないので着物をぬがせ、長襦袢一枚にして持ってゆく。今度は治兵衛のところへ借金とりが来たが、これも同様なので着物をぬいで渡し、腹がけ、股引だけになる。二人は茶碗酒をガブガブやりながら負け惜しみばかりいっている。時は正月なんだが、

「おらァ暖かくって暖かくって、見や、こんなに汗が出らァ」

「わたしも暑くってたまらない。どうかカクランをしそうだよ」

そのうちに治兵衛は寝てしまう。小春が一人で酒を飲んでいるうち、鼠が出て紙屑籠を引ッくりかえすと、中から枕画が出る。小春がこれを見る。

「なんだこりゃァ——いやななりだのう」

といいながら、その絵をジッと見て、治兵衛の寝顔をフッと見る——このところ一人芝居。時の鐘。

「オオ寒い、だいぶ酔ったようだ」

といろいろ思い入れあって、

「治兵衛さん、堪忍しておくれよ」

と屏風の中へ入るという趣向だ。治兵衛は三代目尾上菊五郎、小春は五代目瀬川菊之丞、二人とも露の垂れるようないい器量だったから、作者が当て込んだのだが、脚本は実に当時の江戸ッ子をよく書いてある。

東京株式仲値

□新株落 △配当落
（14日終値）

特定銘柄							
東海上	284	昭電工	76	旭化成	318	カボン	E50
郵船	56	日本曹	75	山陽パ	98	三井物	139
新三菱	91	旭電化	79	日本パ	91	第一物	98
日清紡	273	三菱造	72	国策パ	97	白木屋	249
味の素	295	三井造	106	東北パ	114	高島屋	79
三越	274	三菱重	60	大東紡	94	日活	84
平和不	199	石川重	91	商船	50	松竹	199
三井金	106	精工	139	三井船	46	東宝	1265
三菱金	85	東洋べ	113	飯野海	41	大映	174
日鉱	79	日立造	43	西武	359	日本粉	122
住友金	96	浦賀	45	藤田興	224	日清粉	149
三菱鉱	40	日平	26	東京ガ	66	日本ビ	150
古河鉱	58	古河電	67	東電	425	朝日ビ	174
同和鉱	109	日立製	68	日銀	—	キリン	195
住友炭	58	東芝	65	東銀	80	宝酒造	84
三井山	56	三菱電	85	三井銀	70	台糖	227
北海炭	48	小松	60	富士銀	87	明糖	112
東邦亜	61	日本光	140	日証金	90	甜菜糖	113
帝石	65	キヤノ	143	安田火	112	野田醤	193
日石	94	東京光	39	大正海	88	森永	280
昭和石	96	東洋紡	135	住友海	77	明菓	166
東燃	84	鐘紡	120	千代田	76	日水産	77
三菱石	107	富士紡	109	鋼管	64	昭和産	92
大協石	120	大日紡	79	日製鋼	67	東洋醸	69
日東化	70	日東紡	60	八幡鉄	51	合同酒	105
日産化	74	片倉	35	富士鉄	50	三楽	82
三菱化	97	呉羽紡	78	神戸鋼	56	大阪糖	153
三井化	109	東邦レ	105	日特鋼	128	王子紙	201
協和醗	110	帝麻	64	日軽金	172	十条紙	212
東合成	108	中繊	55	日金工	57	本州紙	88
信越化	84	帝人	121	日セメ	122	三菱紙	89
東高圧	117	東洋レ	165	常磐セ	233	北越紙	51
		三菱レ	121	小野田	80	三井不	785
		倉レ	80	横浜ゴ	208	三菱倉	507
				旭硝子	140	三井倉	83
				富士写	116	渋沢倉	—
				小西六	106	東洋埠	181

市況 堅調持続

特別材料はないが地合は引続き底固く大証券の優良株物色買もかんまんながら続けられているため休日控えにかかわらず市況は小幅続進をたどつた、特定株は売物薄のおりからマバラ買が続いてほとんど一、三円高とジリ高歩調

雑株も引続き化学、石油、化繊、水産株などに大証券中心の買物が見られて五円内外高いものが多く場面は閑散なうちにも概して堅調

▽高い株＝ゼネラル物八円、鋼器、東宝、東京鋼五円、日本レーヨン、旭化成、西武、関西電、日野ヂ四円

▽安い株＝旧商事五円、千代田光四円

内外抄

賠償総額が比国側歩み寄りでさきの協定の倍額八億ドル。大使さんは「ネリ」ましたかね。

◇

西欧が東になってくるなら東欧でもと、きょう共産八ヵ国の統一軍結成。歯には歯をというわけ。

◇

本州—四国間の海底トンネル案が再燃。こんどこそはこの計画をトンネルにするな。

◇

鳩山さんが、ガを折って遺族代表に会い、要領よく引揚げさせる。吉田さんのやれぬ芸。

◇

生徒を救おうとして死んだ先生五十人もの生徒を助けた漁夫、紫雲丸事件の英雄を讃えよ。

ないかい川柳 吉田耕司選

ラツシユアワー女の尻にある力 千葉 田辺ゆり坊

税の苦はない風をする回り椅子 荒川 松永 眞

運轉手人道走つて目を覚まし 中野 高野芸太郎

東京の客へチヨツピリ味の素 市川 川崎火呂志

逆さまになつてくらげが灯に誘い 港 三上とんぼ

赤色と桃色ばかり子の書棚 浦和 青 春子

政界春秋 政界劇と鷺坂伴内

木村儀兵衛

岸信介、三木武吉、河野一郎、砂田重政、清瀬一郎らが連合形体をし、"民主党の中心点ここに在り、都合で鳩山一郎をやめさせてもよい"という"匂い"を発散させたら、鳩山家御用の印半てん組が"ケシカラヌ"とイキリ立ち、鳩山をして"今やめる意思はない。一、二年位このまま続けたい"といわしめた。旧改進党組も"民主党の中心はわれわれじゃないか、われわれの意向を無視する勝手な行動は承知できない。あとで文句をいうぞ"と松村謙三にいわしめた。

正力松太郎が、緒方竹虎に"一応鳩山の下に入閣し、適当な時機に回り舞台にした方が、物事自然に運ばれて、よさそうに思うが"と気を引いたら"とんでもない"と断られた。緒方や大野伴睦の腰が据っていない。"物ほしそうな顔をするな、ゼニ儲けと、政治をゴッチャにするような三木や、河野のいうことが引当になるものか、タヌキに鼻毛を抜かれるな、農相不信任の気配があるので、先制攻撃をかけているのだろう"と大磯（吉田茂）方面で、緒方監視をやる一方"緒方の政治生命も永いことじゃァない。次は池田勇人じゃないか、ボヤボヤするな"と池田にハッパをかけている形跡もある。"何もオレが首相や外相に返り咲こうというのじゃない。英米に遠ざかり、ソ連・中共に近づく鳩山のヤリ口が黙って見ておれるか"といった調子である。

とにかく突け、ガケブチまで追いつめてから相手の出方を見よ。コチラから物ほしそうな顔をするな。吉田派の鼻息は荒い。

アンチ吉田派は吉田復へき運動、外務大臣両方共ダメにきまっている。吉田は隠居以外の何者でもない。相手が緒方の首班を認めれば、少々のことは譲ってもよいのだ。政策本位といっても、話合いのつかぬものは一ツもない。文句ばかりいうなら吉田派を斬ってすてればよい。緒方もイザという時、腹はきまっている。鳩山がやめて、あとを緒方首班ということでなければ、それはもう自由党は純野党で突貫する他ない。この原則は動かせない。民主党側では緒方が全部といわぬまでも七、八十名でもマトメ得れば首班を渡してもよいのだ。卅や四十名では首班の渡しようもない。吉田派に追いまくられて、尻ツボミになりはせんかと首をかしげる者さえある。

一挙合同はできそうもないが、緒方首班の目標さえつけば連立も可能性がある。それも自分がどの辺の地位に座れるかという自己本位で物をはかる者ばかりだから、いつどう形勢が変化するかわからぬ。芝居に見る鷺坂伴内よろしく、同じところを行ったり来たり、宙返りさせたり、国が立つか、立たぬかという瀬戸際というのに、党人共の争いは果しもなく続いている。

青春無宿 （5）

大林清 下高原健二画

楽隊乞食（五）

そこへ銀盆にのせた飲物を持って、女がもどって来た。手にしていたマッチを次郎の前へおいて、

「おぼえていてね、この店の名は「スカーレット」あたしの名は小原」

次郎はどこかで聞いた名だと思った。

「スカーレット・オハラ、"風と共に去りぬ"のヒロインよ。それからもじったの。ほんとうは小原千子、海千山千の千かな」

そう云う間に、ブランディとハイボールを手ぎわよくならべた。

「榎、話せよ」

堂本がうながしたが、榎は元来が無口なたちらしく、うつむいてだまっている。

「よし、じゃ俺が話す」

堂本は次郎へむきなおった。

「榎の彼女、といっていいかどうか、ともかく結婚することになっている子が、コニー劇場の隣の喫茶店で働いているんです。きれいなんでいろいろと張りに来る男も多いんですが、今の星野の弟分のチンピラが眼をつけて、うるさくつきまとうんで、この間の晩、榎がその光ちゃんてのを送って帰ろうとした訳なんで、そうすると、例のチンピラがついて来て、何だかんだと云う…」

「楽隊乞食って云ったんです」

榎がやっとそうひきとって、

「放っとけばよかったんですが、こっちも虫のいどころが悪かったもんですから、思わずムカッとなって、ちょうど楽器もあずけて来てあったし、乞食とは何だと云いかえしました」

「銀座義勇会の下っ端だってことは知らなかったんだな」

と、堂本が口をはさむ。

「うん、銀座義勇会なんてものさえ知らなかった」

「この男、銀座は新しいんで、去年まで学校へ行っていたんです」

堂本が説明した。

「それで喧嘩になったんですが、その時は僕の方が勝ったんです。あとでつまらない真似をしたと思って、とても嫌でした」

「その仕返しなんだな」

次郎はうなずいた。

「ええ、用心はしていたんですが…」

「彼女の方はどうしたの?」

千子が自分の分のブランディに口をつけながらきいた。

「それから休んでいます」

「働かなくってもいいんならいいけど…」

「いや、家の稼ぎ手なんで、そうもいかないらしいんですが、銀座へ出たらまたつきまとわれるのがわかってるんで、実は当人も困っているんです」

「喫茶店だと若い人なんでしょう」

「レジですから、そう若いというほどでもありません」

「だったら ここへでも来たらどう?」

千子は膝を乗り出して、

「ねえ宇田さん」

と、もう十年の知己のよう。

次郎はだまってブランディをあけた。

「義勇会だか奉公会だか知らないけど、たかが愚連隊なんか、あたしが追っ払ってやるわよ。よこしなさいよ」

「こんなこと云っちゃ失礼ですが榎はあんまりこういう商売感心しないんですよ。われわれこうしてあるいて、内幕をよく知ってますからね」

堂本が代って答えた。

悪書 悪歌謡 悪映画よりもっと怖いもの 悪徳教師の防止と粛清を放ってはおくわけにはいかない

子供たちの目に、耳に触れさせたくないいかがわしい出版物、映画、玩具いまは歌謡曲、クイズなどが熱心な母親たちの手でどしどしパージの槍玉にあげられている、特に児童福祉週間を中心とする前後は、その効果を著しくあげた。しかし、幼い魂を蝕むものは、こうした目や耳から入るものばかりではない、もっと身近かなところに、しかも子供たちが信頼してやまない人々のなかに、見えざる毒草が根ざしている、それを物語っているのが〝悪徳教師〟といおう、例えば、こゝ一、二カ月間の新聞を繰ってみても暴行沙汰やPTA会費の使い込み…その他教師の不正事件は決して少くない、もちろんそれは、ほんの一部の教師のことではあるが教育界にとって見のがしてはならない傾向であり、戦前ならばこの種の事件をとってみても教育界にあるまじき汚点として、社会の烈しい指弾を浴びる問題である、だからといって、いま事新しくその責任を取上げて教員の資質低下を嘆くのではない、ただ、悪書などとの追放運動と併行して、この問題はもっと切実に取上げなければならないのではなかろうか、そうした世のお母さん方の批判にゆだねる意味で、これはニュース面から拾った不正教師事件ありのまゝである(A・H両記者)

〝快活なよい先生〟 信頼を裏切ったこの醜行

ニュースの眼

[illegible]れる人のうちにも、ひと皮むくと大変悪質な先生が[illegible]れは善良な他の教師を侮辱するものだ〟とりゅう眉[illegible]こういう奴も一万人に一人か十万人に一人ぐらいは[illegible]質な者ばかりだというのはひどい〟というだろう、[illegible]、横領、窃盗の類ならいざしらず、いやしくもそ[illegible]性犯に至っては、その職掌がら一万人に一人はおろ[illegible]なのだ、ところがそういう醜い道義的犯罪者が確か[illegible]面に現われたものだけを拾ってみても

▽三月十九日 新潟県西蒲原郡月潟村中学校、社会科教官横山喬(三五)の教え子暴行事件▽同月廿二日 高知県長岡郡大豊村大杉中学校教諭徳弘愛雄(三〇)の女生徒との同泊事件▽三月廿四日 横浜市田奈小学校教員斎藤芳蔵(三三)の児童暴行傷害事件▽四月に入ってはここにとりあげる川崎市桜本小学校の女生徒暴行事件▽また事件のケースは異るが群馬県に起った中学校助教官のPTA会費廿万円使い込み事件などというのが目立っている

ここに一例として桜本校事件をとりあげるが、事件の中心人物も被害者も現存し、しかもこの教師には妻子もあるので、その子らのために父教師の写真掲載を見合せ、併せて全人物を仮名にした

[illegible]とある、「ご[illegible]住宅ですか…」[illegible]前に現われた[illegible]「何かご[illegible]独特のカンで[illegible]なにかある〟と[illegible]は不安と動揺の[illegible]夕刻、校長か[illegible]の電話ででかけ[illegible]だが「もうおっ[illegible]かけた、この夜の訪問者は川崎市臨港警察の広瀬捜査主任と部下二人、ほどなく玄関の格子戸があいてこの家の主人、大山が力なく入ってきた「警察のものですが…」と切りだした広瀬捜査主任と二言三言、言葉を交わしたが「お伴いたしましょう」と細君の不安におびえた眼ざしをあとに臨港警察に連行された、調べ室に入った大山はもうこれまでと思ったのか一切を観念して「申しわけない、申しわけない」と繰り返しつつ非行の一切をスラ〳〵と自供した

とてもまじめな先生

大山次郎(三七)は廿五年師範学校卒業後、横浜市鶴見小学校奉職、廿六年六月退職後東京の某印刷に勤務したが十月ふたたび教壇生活に戻りこの学校(校長吉浜長三郎氏)に教鞭をとる身となった、師範学校時代は体育を専攻していただけに身長五尺五寸五分、体重廿貫四百、その巨体から繰りだす快速球とカーブ、インドロップはアマチュアに置いておくには惜しいほどの鋭さをもっていた

この学校にきてからも他校との教員対抗試合でもその威力を発揮し、スタンドで声援を送る吉浜校長をはじめ同僚の先生の眼に映じるマウンド上の大山は、本校の栄誉と名声をグングン高めて行く一人の英雄であった、それだけに彼はスポーツマン・シップを骨の髄まで叩き込んだ明朗、快活な好ましい先生と思い込まれていた、そればかりではない、彼は「校長の歩くクセやシャベリ方、態度なんか実に上手に真似…」たり、どこで習い覚えたのか落語が得意で、よく同僚の歓送迎会の宴席では玄人はだしに語って聞かせ、みんなを爆笑のウズに巻き込ませる彼でもあった

だから生徒や父兄の間でも快活な先生として尊敬の念さえまじえて親しまれていた、また教師としての大山は良いと思ったことはどしどし実行に移して行き、小学校にしては珍らしい気象観測所がこの学校の校庭の一隅に設けられたのも、彼が率先して生徒と一緒に設計図を引き、資材を運んで作ったものだった、彼は新学年も近ずき新しい教科書が配られると早速、大学ノートに各科目の教科書のポイント、ポイントを克明にメモして、それをもとに授業を進めて行くほどの勉強家でもあった、それだけにこんどの非行真相の暴露には父兄たちも「あの大山先生が…」と一様に信じられぬといった表情でわれとわが耳を疑っていた

母親に詫状書かせる

非行は昨年七月ごろからつづけられ、放課後や日曜日を利用して進学のための補習と称しては教室、ときには教員室にまで一人ずつ連れ込み「お前は先生が好きか?」とたずねる、卒業をひかえ進学に一生けん命の女生徒は不安と恐怖におびえながらも「先生の気にいられなければ」と小さな胸を痛め、先生のいいつけは絶対服従しなければならないという誤った教育観念と性に対する無知からいいなり放題になり、部分的ないたずらは数え切れないほど行われていた

こうした教師にあるまじき破廉恥な行為は自然と生徒の口からもれ昨年八月終りごろ、校長は大山を呼びつけ厳重に問いただしたが「そんなこと絶対にありません、いやしくも教師の身である私が…」と一言のもとに否定し、それから二、三日たってふたたび校長室に現われた彼は「このとおりですよ」と噂の出所といわれる某生徒の母親に詫び状を書かせて持参した、校長もこの詫び状をみてホッと安堵の胸をなでおろしたが、たび重なる非行はこの三月に入ってふたたび噂が立ち、こんどは直接臨港警察署員の耳に入り、秘密裡に調査した結果、いままでにはっきりと暴行といたずらをされたという女生徒が四名も捜査線上に浮かびでたほか四月二日暴行をうけたA子ちゃん(一二)の母親の告訴もあってついに逮捕となった

家庭における不満

大山の自宅は妻はな子さん(三六)と子供二人の四人暮しだが、同僚の先生たちの話では、大山は家庭でも円満で近所の交際もよく、学校の行き帰りに受持ち生徒の父兄に会うと屈託のない挨拶を交わす陰一つない明るい性格のもち主だった、その彼が何の不足があってこのいたいけな子らを獣欲の対象としたのだろうか、それは取調べ室に入った彼が告白した言葉〝家庭における性的不満〟のうっ積が、必要以上に彼を変態的な性的衝動に駆り立てたらしい

この事件は〝第二の杉並中学事件〟として世間に騒がれたが、告訴したA子ちゃんの母親が「先生の奥さんにも会い、また先生の子供さんとも何回か顔を合わせているうち、やっぱり親としての情愛から刑務所に行かせるには忍びず…」四月十二日告訴を取下げ、刑事事件として解決されるまでには至らなかった、だが市の教育委員会は校長が三月卅一日付をもって依願免職にしたのを取消し、大山を懲戒免職にしたほか、父兄にはこんどこのような不祥事件の起らないよう強く監視の眼を要望するなどの手を打った

某校教官が児童に悪戯 うわさの根を探れば 派閥争いの犠牲? 罪のない少女に汚名

修学旅行が〝修無旅行〟などと批判をあびている矢先、引率教員が小学校六年生の女生徒にイタズラをはたらいた、という噂がとび、その事実を確めたところが、教員間の派閥争いからの悪質な中傷ではないかとみられる事実もとびだしてきた 神聖であるべき学校で噂にしろ派閥争いにしろ、ともに子供に与える影響は少くない

うわさの事件は、昨秋、都下北多摩郡の某小学校の六年生が最後の修学旅行で一泊二日の日光見物[illegible]きそいの月形信一教官(三[illegible])[illegible]にイタズラをしたといる、当夜は約百五十名の[illegible]就寝後、三組の梅川れい[illegible]屋一室に、赤羽賢蔵教官(四二)松村常子教官(二九)と月形教官の引率三先生は隣室に寝たが、月形教官が深夜の見回りと称して生徒の部屋にゆき、そのさいの出来ことで、全員就寝したとはいえ、一部の生徒は目をさまして目撃していたが、先生の行為なので誰にも話さずにいたが、卒業後の最近になって噂になりだした

そこで学校と家庭で秘密に調べたが、当のれい子さんは家人に否定し、家人も「れい子がなにか隠している様子もみられず、ひどい噂だ」と憤慨している、旅行に同行した赤羽教官も「初耳だがそんなことはなかったようだ」と語っており、松村教官は「最近になつて、そんな噂を聞いたことがあるが、旅行の際のこととは知らなかつた」といっている、目撃した生徒がいるといわれているのだが、それが誰だかも判らない、当の月形教官は「ヤブから棒で怒る気にもならないが、あまりにも悪質な噂だ」と憤慨している

ところで月形教官は四年前に埼玉県の小学校から待望の都内の本校に転任して来たもので、さらに今年二月、世田谷の某校に転じた、積極的な性格で同僚や生徒、父兄には人望があったが、古参教官との折合はよくなかったようだ、特に問題のこの学校に八年もいた教務主任角川教官(四八)とはPTAの問題や給食問題でしばしば論争もし、ついには月形教官を昨年九月横須賀某校に追いやる結果にまで発展した事実がある

そこでこの噂の発生を割ってみると、角川教官の親類で一年前から同校勤務となり、旅行にも同行した松村教官が角川教官に「月形さんが旅行先で生徒の寝ているところをちょいちょいのぞきにいった」などと話したとから、噂に尾ヒレをつけ、月形教官を陥れるために角川教官らがでっちあげた「ねつ造された噂」ではないかと一部の人々はみている

さらにこの二人の争いの根を調べてみると、角川教官が目をかけている給食婦の小松川某さん(卅五歳ぐらい)が「先生か小使か」についての論争がおこって、給食問題からPTAの問題に発展し、双方で賛同者を増やすため種々の争いが起ったあげく角川教官はあきらかに左遷、月形教官は都内に栄転となった

結局この事件は教官の桃色犯性を確証づける何ものもないのだが、そうした噂が起りそれを子供の口にまで上らせたことについての学校の責任は小さいものではない、ましてや教師間のとばっちりが、罪のない少女の名を汚しものとすれば、これほど怖るべき醜い争いはない、われわれはこの噂の、無こな児童に与えた影響を無視することができない

防止の道・フタをとれ

児童福祉審議会委員 地域婦人団体連協会長 山高しげり女史談

◇婦人の会合の席上なんかでも、よく先生が家庭教師替りにやってきてキッスするとか、学校でもいろんないたずらをするということをチョイチョイ耳にして知ってます、その場合、大ていの母親は自分の子供の将来を思い、家庭内の不祥事が世間に知れるのを恐れて泣き寝入りし、同じような危険に臓かれている他の多勢の子供には全然といってよいほど関心をもっておりません、私はこの点に声を大にして訴えたい、こうした事件は一家庭の問題であるばかりでなく、また自分の子供であると同時に社会の子供であることにも親は自覚をもたなければ、たとえ百年先になっても事件は後を絶たないでしょう

◇教員は児童に対する行いは直接的であるだけに非常に大きく社会におよぼす影響も従って大きく深いものです、また一方PTAや教員組合にも責任の一端がないとはいえません、多くの場合、自分の関係している学校から恥ずべき事件を明るみにだしたくないというのは人情です、しかしなんらかの形で問題を解決にもって行かなければ世の親は泣き寝入りに終ってしまうことを考えるとき、最良の解決方法ではないかも知れないがあらゆる組織、機関に訴えて事件を明るみにだし社会的制裁を加えることです、それが第二、第三の非行事件を防止する最良の方法であると思います

【写真は山高女史】

モダン歳々記 梓人大口屋暁雨

明和三年五月十五日「侠客春雨傘」で知られた大口屋治兵衛即ち俳人暁雨が没している。[illegible]

[illegible]六の扮装をそっくり模倣して、助六気取りで遊んだといわれ、助六の暁雨の名があった。彼を主人公とした この「春雨傘」の芝居は、[illegible]れこみ、ホモ趣味を通そうとするが、今西玄之進に妨げられるのでこれを斬って棄てた。殺された玄之進の娘お鶴が、吉原松葉屋で薄雲と名乗って、暁雨の馴染みの丁山の妹女郎になっていた。鉄心斎がこの薄雲にざぐりを入れて口説きに現れたとき、暁雨とぶつかって喧嘩となり、今度は鉄心斎が額を割られる。この出入りは花魁葛城の留女で収るが、暁雨は薄雲のお鶴の後だてとなり親の仇を討たせるという物語なのである。(鮭)

あすの運勢 =五月十五日= 高島象山

▲一月生—初め少しは気掛りの事あるも次第と向上し努力効果上る
▲二月生—彼れも是れもと気迷い失望あり易い稼業を守れば無事也
▲三月生—何事も英断的に活動し敏活に努力して栄達あり結婚大吉
▲四月生—何事も順調に進展し目的達するも酒色の道は警戒すべし
▲五月生—自動的には無事なるも他動的のことで心配苦労絶り易い
▲六月生—万事向上し発展の義あり威勢よく活動して利達栄昌あり
▲七月生—数日の思いが叶い嬉びあり栄達する交渉事有利旅行よし
▲八月生—気迷い心動いて好人の好餌となり易い社交的に注意肝要
▲九月生—心静かに稼業を守りて無事也他人の世話は後に迷惑掛る
▲十月生—雲晴れて青天となる如く漸次都合よく進展し商売繁昌す
▲十一月生—物事齟齬し失望あり損失を招く慎重に進退せよ旅行凶
▲十二月生—何事も目標を定めて進めば思いが叶う造作移転就職吉

珍流世界譚 …(アメリカ)…

「ゆうべ、あなたはいったいなんの夢ごらんになったの」朝起きがけのベッドのなかで、妻のメリーが不審そうにたずねました。「なんども〝ナルビー〟っていってましたね。なんですの、その名前?」「いや、なんでもないよ。いや、いやそうじゃない。そう、そう、僕は君に五十ドルやらなきゃいけないんだ。〝ナルビー〟ッていうのはね、そのオ、馬の名前なんだよ。ソレ、この前の競馬で百ドル儲けさせて貰った奴さ。そんときキミに、半分やるって約束したろう? あの馬だよ」思いがけず五十ドル貰って喜んだ妻でしたが、それから数日後、夫が出張旅行から帰ってきたというのに、一言も口をきかず、プリ〳〵していいます。「どうしたというんだい、メリー」夫が首をかしげながらたずねると、メリーはうらみをこめた眼差しで、「あなたの馬は人間なみですことネ、手紙を寄越したりして…」すると夫はとぼけて「馬丁からだよ、それは。また乗りにきてくれッていうのさ」

浪人街道 (156) 木村荘十 野口昴明画

花吹雪(四)

お艶は、啓之助と二人きりになると、男の側に、にじり寄って囁いた。

「お前さんは一体誰なんだい」

啓之助は、ほのかに鼻をうつ女の体臭に、身をかたくして黙っていた。

「ねえ」

お艶は、啓之助の顔を惚れぼれと眺めながら、何となく、ねっとりとしたような声で囁くのだ。

「なんだって周馬なんかに化けて来たのさァ。ちょいと」

女は、啓之助の膝に手をおいて倒れかかるように肩でおしながら、

「話しによっては、私も一肌ぬぐからさ。お云いな」

「俺は、何も化けはしねえ」

啓之助は、お艶の媚情に抵抗して、わざと冷たく、やくざな言葉でいったが、それは却って、お艶をなれ〳〵しくさせるばかりだった。

「ふ、ふ、お前さんは知らないのかい、周馬はあたしと寝た男なんだよ。いくらお前が似ていたって抱かれて寝た男とお前さんを間違えるほど、あたしゃァまだそんなにぼけちゃァいないんだよ」

「知らねえ男にしちゃァ、なれなれた。

「お前さんは私のものの云いようで、命の無くなる人間なんだよ。なにさ、刀なんぞを引寄せて…あの連中が、お前を殺さなかったのは、金助が周馬だと云い張るのでどうにかして、御霊屋のかくし場をききだそうと、お前を生かして捕まえるつもりだったからなんだよ。周馬でないと分ったら、とっくに飛道具で撃れている筈だからね…私を斬ってここから逃げられるなんて考えたら大間違いだよ」

「それで俺をどうしようというんだ」

[illegible]

ラジオとテレビ 14日(土)

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷子供狂言「狸退治」ほか 40 スポーツだより	00 英語会話 松本亨 15 紫雲丸は何故沈んだか 30 ピアノ独奏 谷康子	10 東西こぼれ話 小金治 15 スイート・コンサート 25 ぴよぴよ大学(河井)	00 劇「少年宮本武蔵」 10 おばあちゃんと一しょに ワカサ・ひろしほか	00 メイコのお婿さん探し 15 劇「ゴジラの逆襲」 45 のんちゃん雲に乗る
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 夏場所二十の扉 千代ノ山 三根山 藤浦洸他	00 映画音楽 欧州音楽集 解説・清水光雄 30 ❶青年学級だより❷座談会「新聞の読み方」	10 録音ニュース 20 物語「赤穂浪士」夢声 50 歌の想い出 歌・栗本尊子「からたちの花」他	00 録音ニュース 10 歌・ペギー・リーほか 30 アベツク歌合戦 トニー谷 石井亀次郎ほか	00 ラジオ夕刊(耳の新聞) 20 花のステージ竹田節子 30 私のヒツト・ソング 美空ひばり 越後獅子他
8	00 なつかしのメロデイ 楠トシエ 羽山和男ほか 30 とんち教室 石黒敬七 玉川一郎 西崎緑ほか	05 今日の国会から 20 プロ野球ナイター実況 ❶トンボ対阪急 川崎から❷南海対東映大阪から	00 落語❶粗忽長屋 小さん❷風呂敷 柳好 30 浪曲・次郎長伝「黒駒騒動」広沢虎造	00 素人ジヤズのど自慢 司会 丹下キヨ子ほか 30 都々逸スクール 司会・木戸竝 藤本二三吉他	00 飛び出す放送 トニー谷 万代峰子 豊吉ほか 30 浪花節「横櫛お富」相模太郎
9	05 ニユース解説藤瀬五郎 15 連続劇「樹氷」永井百合子 関口玄三 山田清 40 完全看護と添付婦	00 ダンスアルバム 恋人よわれにかえれほか 45 座談会「第一回アジア排球選手権大会を語る」	10 歌謡曲 島倉千代子 及川由子 高田浩吉ほか 40 歌謡漫談「遠山の金さん」川田晴久とダイナ	00 漫才 ダイマル・ラケツト 伸・ミスハワイ 30 劇「この世の花」真木恭介 丹阿彌谷津子ほか	00 リレー劇「太郎ゆくところ」司葉子 大川太郎 30 劇「噂その人を」丹阿彌谷津子 森雅之ほか
10	15 今週のニュースから 40 幸福を拾つた話 市村俊幸 宮城まり子ほか	00 ❶初級世界史 中村英勝❷上級英語 梶木隆一 45 気象通報	05 きようのニュースから 15 エチケツト論 日出造 30 劇「家のおばあちやん」	00 大学受験春期基礎講座 英文法 黒田巍 30 国語(古文)小西甚一	00 歌謡曲 若原一郎 大路はるみ 林伊佐緒 35 スポーツ・カレンダー
11	10 NHKだより 20 随筆「五月」石川欣一	00 子供の生活と文化「映画の影響」波多野完治他	10 週末夜話「社会ダネの裏表」宮本英夫ほか	00 DXニュース 福士実 20 鼎談「右社統一綱領」	00 唄ごよみ下谷小つる他 15 二十の質問 有馬稲子

テレビ

★NHK★◆6・00 親子クイズ◆6・30 今晩はメイコです◆7・10 週間ニュース◆7・30 夏場所廿の扉 千代ノ山 三根山ほか◆8・00 バラエテイ「気まぐれ旅行記」有島一郎ほか◆8・40 民謡お国めぐり「東北」

★NTV★◆6・00 童謡集◆6・10 動物園「蜂の社会」◆6・30 素人のど競べ 司会・水の江◆7・30 なんでもやりまシヨウ◆8・00 映画「野球ハイライト」◆8・25 お笑いホール◆8・45 東京昔々 柳永二郎ほか

★KR★◆6・00 短篇映画◆6・25 歌謡曲シヨウ◆7・00 映画「機関車小僧」◆8・00 ルポ「富士山麓」◆8・15 ダンスへの誘い◆8・30 短篇映画◆9・10 劇「日真名氏飛び出す」久松保夫 淡京子ほか

続 情炎の千代田城 (116)

岩崎栄 作　寺本忠雄 画

敵味方（十）

[illegible]

「…ける」

そういった観測で、一とまず警戒の騒ぎが下火になりかゝるときだった。遠雷のような気味のわるい地鳴りが「ドドド、ドロドロッ」とあたりの空気から、人々の腹の底にまで響いて来た。

地下の秘密な部屋、部屋で、江戸城から外濠の下を抜けている坑道をくゞって来て、ここでも守僧や、若い武家たちと、けらくの夢をむさぼっていた御簾中付の、京都派女中たちの幾組かが、同時に、一様に、

「あれ！」

「地震、大地震」

互いに抱き合って、浮藻な臥床から、しどけない姿で立上り、廊下にまろび出たとき、この地下一たいは、ギシギシ、ミリミリ無気味な音をたて、嵐の中の舟のように、ユラユラ、ミシミシ震動し、揺れていた。

「早くお城に――」

「あれえッ」

そんな、女たちの叫びが、ころげつ、まろびつして、

「早う抱いて」

「おぶってくださりませ」

その廊下の一ばん奥のあたりから、

「たいへんにござります」

「キャアーッ、たすけてえッ」

逃げ出してくるのを追いせまるものは、奔流のような水だった。水だ、水だ。洪水だ。津浪だ。怒涛だ。女や男に、打ちかかぶさって、圧し倒して、そのまゝ前足に抱き込ンで、狂って躍って、廊下を雪崩れのように押して来た。

お静、千代太郎、それから岩テコの三人が地雷火を仕掛けたと、誰一人、知る筈はない。

地雷火は、お濠の底を爆破したのだ。同じように地上でも、荘厳雄大な護持堂がユラユラ揺れて、稲妻型に裂けて、積柱が崩れるように潰れてしまった。

坊や寮から火の手があがり、黒煙が夜明けの空へ呻りながら巻き上った。太鼓が鳴り、鐘が鳴り、町家が飛び出し、寺社奉行が、大御番が、それぞれ手兵をひきいて乗り出し、火付盗賊改め役が出陣して来た。ちまたに溢れ、右往左往する群集の中で、あるものは口々に、

「この敵だい」

「豊臣の残党でしょうな」

「まさか、いまごろまで豊臣家が」

「いや加藤家の一味じゃて」

「そんなもんじゃねえ。こいつァてっきり反乱だね」

「誰か反乱を起したンだよォ」

「されば、謀反人どもか―」

「だからその謀反人っていうなァ誰だい」

「謀反人は名乗らねえからわからねえ」

「なァにオいってやがる」

お静も千代太郎も、岩テコも、この修羅場を知らぬ顔で、とっくに、浅草稲荷町の八百定へ帰っていた。

さしもの護持院も、あとかたなく潰滅し去った。まことに槿花一朝の夢だった。

江戸城への坑道を破壊されて、城に帰る途を塞がれた瑞春院お伝の方は台命により、尼にされて、芝今入町の御用屋敷に閉息させられた。

スターのいる町

大森界隈（その一）

山 手風俗と下町風俗が国電の線路を境に真二つに分かれているのが大森だ、だからこの町は駅沿いに東西にめっぽう長い商店街が出来ている

すなわち山王口はバス道路に平行して約二キロ海岸通りは京浜国道まで一キロといった案配なのだ、こういう"ウナギの寝床町"に目をつけたのが吉村公三郎監督で早速大映作品「欲望」では目抜の大森商店街をオープンセットに建てゝ映画を製作したこの時の話を駅前の天ぷら屋にきくと「さいですね、あのころ吉村さんがよく見えてましたねアッシはそれが吉村監督か何か全然知らなかったわけですサア、よくエビとアナゴを食べて賑やかでしたね、お連れが三、四人いつもくっついてね、それあの店は間口が広いとか奥行がないからライトが届かないなんてね、アッシは初め何の話だろうと思ってやしたがね、最後にはアッシを映画に出してやろうかなんていゝだしたもんですよ、そうしたら吉村さんが"オヤジの頭はハレーションをおこすから駄目だよ"なんて…いや朗らかなものでしたが、あれがロケ・ハンていうんだそうですね」といった、なるほどこのオッサンの頭は毛がちっとも残っていなかった

吉村公三郎

子供たちに人気の長岡のオバチャン

▽…表札は「ザンス」で通るトニー谷

さ てこの毛といえばこの街に最近めっきり少なくなる髪を一生懸命気にしている須藤健がいる、彼の家は山手族の住む山王をちょっと行き過ぎた馬込は東の一丁目なんだが、奥方のヌードダンサー暁竜子と小じんまりした住居に仲良く愛の巣をいとなんでいる、しかし最近は彼の方が東映京都に出演する機会が多く、時々留守にするようで、この旅行カバンにはヘアートニックが三種類常備されているとか、これは近くの薬局の話だから本当のことなんだろう、といったことで、まあそこのご夫婦のむつまじいことだけは近所でも評判になっているようだ

暁龍子

この家から五十米ほど行くと新劇の女将軍長岡輝子のお城がある、もっともお城というほど大きな家ではないが、彼女の落着いたタイプからくる感じで近くの子供はお城のオバちゃんと呼んでいる、NHKの連続放送劇「やん坊にん坊とん坊」の解説を担当しているから、大変その意味でも子供には人気が出てきているようで、近所の八百屋に行くとその家の子がニンジンを「ハイ、オバちゃん」といって差出した一コマもあったとか、「きっと白猿の女王様だとでも思っているのでしょうよ」なんていうのが彼女に関するこの街の評判だった

長岡輝子

こ こをまた旧国道に向うとザンスのトニー谷の家がある、とにかく表札に「ザンス」なんてトボケたことを書いてあるから彼の家だけは一目瞭然と判るようなものだが、近所の評判はとにかく奥方の近所のお噂はけっして悪いものじゃない「ご主人がいつもいらっしゃらないし大変でザーマスよ、あの奥サマは、それに近所の小学生達が坊やちゃんを"ザンスの子"なんてからかうのザマショウ、なみたいていのご苦労ではないザーマスわね」ときた、なるほどかたわらの塀には"ザンスザンスでサイザンス"なんて落書がしてあった、やっぱり人気ものゝ奥サマなんて楽なものじゃないザンショウね、ハイサイザンス

トニー谷

【次回は大森界隈その二】

マイクから覗いた芸能人の出演料

民間放送の続出で一時は"ラジオ・ブーム"に沸いた芸能人の出演料は、その後ひどい値上りもみせず落着いていたが、最近ではまた"テレビブーム"と称してにわかにせり上り、人気スターならば卅分の番組で四万円から五万円というウナギ上りの高値を呼んでいる、これにまず音をあげたのが不景気をかこつスポンサーだ、では芸能人は一体くらぐらいとっているのかギャラを探ってみる

人気スター30分で四―五万円

テレビブームで鰻上り　ネをあげるスポンサー

民間放送では、放送出演料が高くなるにつれて昨年来格付けの規準を設けてきたが、それも彼らの人気の上昇とテレビ熱とに煽られていつの間にかワクをはみ出し、今年の初め頃には最高卅分三万円を越すに至った森繁が、さらに四月、KRがテレビを開局すると俄然せり上って、四万、五万は当り前となってしまった。それというのもKRがテレビスターとして越路吹雪、深緑夏代、新珠三千代の三人を専属にした時、その契約金が四十万円だという話がパッと拡がったからで、これは当らずとも遠からずだが、しかもミュージカル・ショウの卅分番組に出て四万円乃至三万円 KRテレビの開局記念番組に出た高峰秀子が四万円という数字が芸能人の間に流れると、ボードビリアン、映画俳優、歌手など各界で自ら一級スターを以て任ずる面々がじわじわと出演料を吊り上げるようになってきた

三浦洸一　美空ひばり　春日八郎　江利チエミ　深緑夏代　越路吹雪　高峰秀子　新珠三千代

中村メイコ　森繁久彌　山本安英　滝沢修

★一曲四万円吹っかけた鶴田、ひばり★

この例としてごく最近の話では映画と歌の二股道をゆく鶴田浩二、美空ひばり、高田浩吉らが一曲四万円を条件に出したといわれている、これにはさすが金には糸目をつけないスポンサーも驚いて、他の準A級スターにメンバーを変えたものだが、現在卅分間のラジオ番組に出演して四万から五万という高いギャラをとるA級歌手は、人気の絶頂を歩いている春日八郎、三浦洸一、雪村いづみ、渡米中のペギー葉山、江利チエミといったところ、これに次いで年令、仕事の量からいってベテラン歌手である淡谷のり子、灰田勝彦、ディック・ミネ、伊藤久男、霧島昇、林伊佐緒、市丸、小梅、勝太郎らがだいたい四万円といわれている

井口小夜子はラジオドラマ「紅孔雀」の主題歌で久しぶりに当りをとったが、笠置シヅ子、服部富子、暁テル子、池真理子、エト邦枝ら多年の経験をもちながら戦争に妨げられて戦後に名を売った人達、一時はなかなか当ったがモードが変れば人気もまた激しく左右される奈良光枝、平野愛子、並木路子、菊池章子、久保幸江、榎本美佐江らは割合いに冷遇され、また十年の歳月を費した高倉敏、田端義夫、鶴田六郎、近江俊郎、竹山逸郎、瀬川伸というクラスはその時々によって三万五千円から二万といった間を上下しているようである、これが新人となるとグンと安くなり七、八千円、ちょっと名が出てきて一万円の線を出るか出ないかだから、相変らず身支度だけでフーフーいわねばならない、これらは民放の場合で、NHKではこの半額程度が支払われている

案外安い演劇人　最高は森繁、メイコら

流行歌手が人気のバロメーターそのまま格付けされるのに対し、身につけた芸でゆく演劇人はそれだけに出演料は高くない、KRの「銭形平次捕物帖」で好演している滝沢修をはじめ森雅之、宇野重吉、杉村春子、田村秋子らベテランが二万五千から二万円、山本安英がこれより僅か五千円程度上回っているということだ、ところでいまラジオに、テレビにボードビリアンとして活躍している面々はどうか、ダイアルを回せばどこの局からも同じ声が流れるといわれるトニー谷、森繁久彌、中村メイコらは局によって差はあるものの、いずれも卅分番組一ツで五万円前後とかいわれている

★新しいスポンサーがつり上げる？★

ところでこれらの出演料は民間放送の場合、自主番組以外はスポンサーが支払うのだが、そこに一つの放送を終るまでにはまさに天文学的数字となる原因があるようだ、スポンサー自体は「新しいスポンサーが代理店のいうなりに支払うからだ」とみており「一人の出演者を独占した場合は高い値段を払ってもよいが他の仕事の合間を縫ってお座なりに録音する人や、自分で人気の値踏みをする人はこれからどしどし閉め出してもよいと思う、また歌手が一曲歌っても三曲歌っても同じ料金というのはおかしい」といっている

一方レコード会社の方では「歌手の出演は人気を買ってのことだから、ヒットした時五万円だったから今も五万円払うというのはおかしな話だ、また一曲か二曲しか歌わないのに同じ値段だというのはその歌手の出演に対して支払われるものだから決して安くする必要はない」と反ばくしている

土曜サロン　良い映画

有馬稲子

私って、いいたいことは割合ベラベラやっちゃう方だから、このごろもう何もいうことなくなっちゃった。たとえいったところでまた有馬稲子がいきばって何かやってやがらあぐらいでおしまいだもの、もうもう私は絶対にくまれ口はきかないことにしているの。だってその方がよっぽど気楽だし利口にみえるんだもの、エヘヘ…それに私だってヒッパタかれりゃ痛いのも知ってるし、出ればつゝかれることも知ってるわ。まったく考えればいやになっちゃうけれど、それが世の中ってものなのかもしれないわね。仕方ないじゃないの。でもこれがサトリというのかしら、だったら案外私も偉いのかな？

だってそうなのよ。よい作品に出たい、良いお仕事をしたいと絶えずいっていても、結局は何でもやらなけりゃならないでしょう。メロドラマだってプログラム・ピクチャーだってね。だからこれからは何でも大いにやりたいわ、っていってようと思ってる。つまり一人でいくらいきばってみても、憤慨してもどうにもならないのがよく判ったからなのね。といっても私ってやっぱり良い仕事がしたいのよ。八日に飛行機で九州ロケに行ったのだけど、その途中で読んだ本がすっかり気にいっちゃって、福岡に着いたとたんに若槻（にんじんくらぶ代表）さんへ電報打って映画化権をとって貰ったり、時間があると電車に乗ったり銀座を歩いたりして何となくこんな役、あんな役と探してみたり、いってみればキザかもしれないけど、これで随分私は一生懸命なんだ。

ところで今一番やってみたいと思ってるのは"心中もの"なんでね。エッ、おかしいの。だからいやなのよ。たったいま、いろんな役をやりたいといったでしょう。だったら笑うことなんてないじゃない。失礼だわよ本当に…

ああ私ね、こんど福岡へ行ってつくづく思ったのはね、ファンって有難いなということなの。そう、二日目だったかしら、お仕事が済んで街を歩いていたのだけど、そこで人に取巻かれちゃったのよ。サイン、サインといわれてね。まあやったのはいいけど、それがスゴーク集まってきて、とうとう最後には動くこともできなくなったわけなんだ。困っちゃったけどね、そこへ高校生が五、六人きてくれやっと宿屋へ帰れたといったなのよ。そしてその人達がある日の朝遊びに来たのだけど十人位ゾロゾロとお部屋に入ってきて、学校の先生の前に座ったようにキチンと固くなっているの。しかもみんなのお小遣いで買ったからといって博多人形をくれるんじゃないの。きっと無理したのだろうと思うけど…そんな学生さんがと思ったら、可愛いのと嬉しいのでホロッとしちゃったわ。

それからまだあるのよ。志賀鉱山という場所でロケーションやったのだけどね。こゝでは自動車から降りたら大変なんで、それこそこんどは廿人、卅人という人じゃなくて、本当に殺到されちゃうのかと思う位に集まってきたけど、後できいたら怪我人も出たそうだから、私もこんなのはじめてだったなあ。だけどこういう人達はみんな多かれ少なかれ映画を見て下さるお客さんですものね。それを考えたら私なんかがいろんなことをいって生意気してられないわね。つまり映画はやっぱり大衆に愛されるものでなければ本当の良い作品とはいえないわけですものね。それだからこそ私だって大衆に愛される良い作品に出たいとも考えるわけなんだわ。そうして本当に立派なものやりたいなあと、いつもいつも思っているだけなんだ。

洋画のしおり

女優ナナ

…ロットフェルド・プロ…

★…エミール・ゾラが生命を与えたナナという女は淫奔女の代名詞として通用する、日本でいえばさしずめ"高橋お伝"か"妲妃のお百"というところ、しかしナナの方が、女中や女工などをしているうちに見出されてオペラのプリマ・ドンナとなり、皇帝の侍従から恋されたりで、最後は天然痘になって死ぬというのだから、もっと波瀾に富んでいる

★…ナナはヨーロッパ映画界切っての体当り的肉体派マルティヌ・キャロルであるからまさにピタリだが、困ったのは最後の死ぬ場面で、監督はクリスチャン・ジャックだから自分の恋女房の顔を天然痘のブツブツにはできなかったらしい、だから彼女に熱を上げたシャルル・ボワイエの伯爵がナナを絞殺するということになっている、涙ぐましき夫婦愛というわけ、五四年製作のテクニカラー

【写真はキャロルのナナ】

新人山脈

藤野節子（新劇）

先だって好評だったアヌイの「野性の女に」にテレーズを勤めた劇団四季の主役女優、といっても演劇経験はまだやっと三年、そもそも芸能界に飛び込んだキッカケはKR開局から一年続いた「ひまわり娘」のヒロインが降ってきたからだ、それまでは菅原電気本社（社長菅原卓氏、常務が内村直也氏）の受付嬢で、来る日も〳〵「どなたにご面会ですか…少々お待ち下さいませ」をやってたものだ、女優としては「私どもも滑舌法（生麦生米生卵などを早くいう技術）が苦手なんです」といった調子だから、役者としての必要な基礎も十分でない、しかし彼女たちの取柄は純粋な情熱と「アルデール」「アンティゴーヌ」「間奏曲」それに「野性」と次々に取組んで来たフランス現代劇の大作におのずから教わる実地教育であろう、零下卅度の北満ハルビン満鉄社宅で、いまでいえば"文化の日"昭和三年十一月三日の生れ　現住所＝渋谷区竹下町一三

はと笛

▽…東映の新人三笠博子、十二日の雨で「母水仙」のロケが流れて一日カラダがあいちゃった、そこで普段からご無沙汰している知人のところへご挨拶回りに歩いたものだ

▽…まず行った先が芝は花屋の叔母さんの家、それから先輩の会社友人のところと二、三ヵ所歩いたのはいいが、行く先々でいわれるのが「あんたはお色気がないね」ということ、そこで彼女歩きながら"色気、色気"とつぶやいて歩いていたのだが、ふと気がついたら田村町の交番の前だった、これには彼女顔を真赤にしてあわててペコリ、いやはやとんだお色気のある顔でー

【写真は三笠博子】

名選 都々逸

石井きんざ選

意地っ張り強い女と世間じゃいうが　意地もあなたと添えるまで　上野・しげる

夢で逢ってた貴方に抱かれ　今夜は本当の夢を見る　久留米・森山阿呆奴

憎いと思うは待ってる間　逢えばこんなに胸が鳴る　市川・松沢ぴんとう

野球拳あたしを負かして裸にさせて　笑って見ている罪な人　長岡・ボール

【賞】怖かった夜が懐しい女になって　しみじみ男の有難さ　船橋・今井ちさと

◇

末に泣くのにまた熱上げて　色で苦労をする女　選者

芝居みたまま

新作に野心的意欲（明治座・新派合同）

☆…新作にたゆまぬ努力を続ける意気は素晴しい、その第一は大垣肇作「望郷の歌」で、天平時代、先進国の唐へ渡った阿倍仲麿（花柳）吉備真備（喜章）僧玄昉（藤村）ら三人の留学生の姿を着実にまとめ上げている、中でも教授の娘惠麗（八重子）を仲麿と争って敗れ、自棄になった真備に、体当りでぶつかる娼婦劉花（京塚）の生々しい愛情が現実性をみせる、花柳、八重子はともに美しいが、その国際結婚の生活ぶりが不十分、玄昉も売僧ぶりだけで線が細い

☆…長谷川町子の「サザエさん」を小沢不二夫が脚色したホーム・ドラマはすみれのサザエさんが車輪、伊志井の父、紅梅の母も好演だが付け鼻などで誇張して騒々しい、芸者ゆえに恋に破れ自殺を図った小夏（八重子）を姉芸者お八重（花柳）が再起させる高田保作「新日本橋」は花柳と八重子のジックリした取組が見物、大矢の栄吉、英のお菊、瀬戸のお兼などが達者に固める

☆…再演物二本、「おえんさん」は八重子が親一人子一人の愛情でホロリとさせ、「青春怪談」では花柳の蝶子が遅れ咲きの色気で冴えをみせ、武始が二本とも息子役で進歩を示す、「晴小袖」は「いかり床」をつけて花柳の三次郎が髷もじゃからイナセな姿に早変りするほか、喜多村のお直が渋味をみせる（杏）

【写真は「新日本橋」花柳㊨と八重子】

おしゃべり横丁

「千姫」カンヌ落選

"放言"のタヽリはおそろしいもんだよ

―大臣